

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ 1	出席委員数	5 / 5 名
日 時	平成 2 7 年 8 月 2 8 日（金） 1 9 時 0 0 分～ 2 0 時 4 5 分		
場 所	第 2 会議室		
【協議事項】（テーマ等） 「子どもと子育て家庭の暮らしやすさ、住みやすさについて」			
資料：子ども向けの施策資料、 ・ ファミリーサポートセンター ・ 北方町子育て支援ガイド ・ きたがた子育てハンドブック（乳幼児編、低学年編、高学年編） ・ 北方町子ども・子育て支援事業計画 ・ 各種子育て行事や教室のチラシ（まなびすとの広場、子ども館等） 「ファミリーサポートセンター」を来年度開設の予定していること、平成 2 6 年 4 月に開設した「みなみ子ども館」は「児童館」と「子育て支援センター」の 2 つの機能を併せ持った施設であること、第 3 子以降の子に対して、子育て支援助成金の支給をしていることや各施設において様々な行事・教室などおこなっていることを資料に基づいて事務局より説明			
委員意見（順不同） ・ 子育て支援のサービスや活動は、どこがやるのか ・ 大きい岐阜市などは N P O 法人や各種団体があるが、北方町では町が旗振りをして子育て支援をやっている ・ 「ままプラザほっと」は、町の補助を受けながら自主的に活動している ・ 福井県は、家庭も地域も学校もすべて一緒に子育て支援を県が主体的にやっていてすごい！ ・ 深夜徘徊など考えられない事件が起こる ・ 今の子どもたちは、情報があふれている。テレビやゲーム、スマホなどに子守りをさせている			

- ・「ひなたぼっこ」に行って感心したのが、スイカ割りの下にシートを大人が敷くところを見て2、3歳の子が手伝っていた
- ・「ひなたぼっこ」は、ボランティアの人が上手に、はじめての人でも入りやすく、楽しめるように工夫していて自分たち自身も楽しんでやっている
- ・昔は、学校に来ない（登校拒否）なんて考えられなかった
- ・昔は、親と同居して家族一緒にごはんを食べていた
- ・昔は先生に叩かれたが、今の先生は生徒を叩かないから辛いと思う
だから、悪い生徒はつけ上がり、先生はノイローゼになる
- ・地域で子どもたちを見守るには、ベストなど着て声をかけないと不審者と間違われて、あいさつもしてくれない
- ・朝に犬の散歩をしているため、中学生と顔見知りになり、お互いあいさつしたり、声をかけることができる

まとめ

- ・地域で子育てすることは、子育て家庭と地域と行政が一体となって次世代を担う子どもたちを見守っていく取り組みや活動が、より重要であると感じた

次回のテーマ

「暮らしやすさ、住みやすさについて」

一回開催予定日ー

10/2（金）19：00～ 第2会議室

※発言順にこだわらず対応する意見については、まとめて下さい。

発言者名は未記入でお願いします。